

教科

社会(地理的分野)

学年

第1～2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の姿	6	○地球表面のようすを地球儀や世界地図を活用してとらえさせ、地球上の位置の表し方や球面上の位置関係をとらえる技能や知識を身につけさせる。 ○地球儀や世界地図を活用し、世界の地域区分や国々の名称と位置などをもとにして、世界の地域構成をとらえ、おおまかな世界地図をかけるようにする。	・緯度と経度を使って世界の地点を示すことができるとともに、世界のおおまかな略地図をポイントをふまえてかいたり、統計資料を活用したりすることができる。 ・世界の六つの大陸と三つの大洋、六つの州をとらえるとともに、おもな国の名称と位置や緯度と経度のしくみ、さまざまな世界地図の特徴を理解している。	・国名や国旗、国境線の特徴などから、これらはさまざまな地理的事象と密接に関連していることを多面的・多角的に考察することができる。	・小学校での既得の知識や日常生活での経験などと関連させて世界のおもな国をあげるとともに、地図や地球儀に親しみ、さらに世界のおおまかな地域構成について興味・関心をもってとらえようとする。
日本の姿	7	○地球儀や地図を活用し、わが国の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを取りあげ、日本の地域構成を大観させる。	・世界の中での日本の位置を示すさまざまな方法や、日本と各地との時差を計算し時刻を求める方法、日本の略地図をかく方法を身につけている。 ・世界の中での日本の位置、日本の領域の広がりとその現状・領土をめぐる問題、日本の地域構成やさまざまな地域区分について理解し、それらの知識を身につけている。	・地球表面上における時差の存在、世界の中での日本の位置や広がり、日本国内のさまざまな地域区分の指標について、多面的・多角的に考察・判断し、その過程や結果を適切に表現することができる。	・世界の中での日本の位置や広がり、日本国内の地域構成や地域区分に関心を持ち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を意欲的に追究しようとする。
世界各地の人々の生活と環境	10	○世界各地における人々の生活のようすとその変容について、自然および社会的条件と関連づけて考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。	・世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。 ・世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然および社会的条件と関連づけた人々の生活のようすと変容を理解し、その知識を身につけている。	・世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然および社会的条件と関連づけた人々の生活のようすとその変容をもとに、多面的・多角的に考察し、適切に判断することができる。	・世界各地の人々の生活と環境の多様性に対して関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。
世界の諸地域	32	○世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活のようすを的確に把握できる地理的事象を取りあげ、それをもとにした主題(テーマ)を設定してそれぞれの州の地域的特色を理解させる。	・地球儀、地図帳、映像資料などから地理的事象を読み取り、それらの学習成果を略地図などにまとめる技能を身につけている。 ・各州の大観的な学習を通して、基礎的・基本的な知識を習得し、主題(テーマ)追究学習により、各州の地域的特色を理解して、世界の諸地域についてのイメージを構成できる。	・各州の地域的特色を明確にする主題(テーマ)を追究し、わが国との比較や関連をはかりながら、多面的・多角的な思考や判断を行うことができる。	・中学校第1学年の生徒の生活や関心と結びつく地理的事象を取りあげ、各州の地域的特色を明らかにする主題(テーマ)を追究する学習に、意欲的に取り組もうとする。
身近な地域の調査	5	○身近な地域における諸事象を取りあげ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めて地域の課題を見だし、地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養うとともに、市町村規模の地域の調査を行うさいの視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身につけさせる。	・地図や景観写真、統計資料などを的確に読み取って活用するとともに、調査結果もわかりやすくまとめ、表現することができる。 ・身近な地域的特色を理解するとともに、調査の視点や方法を身につける。	・身近な地域の地域的特色や課題をとらえるために適切な地理的事象を取りあげ、それらを多面的・多角的に調査し考察している。	・身近な地域的特色や課題を追究するとともに、課題の解決策を意欲的に考えようとする。
日本の地域的特色	16	○世界的視野や日本全体の視野からみた日本の地域的特色を取りあげ、わが国の国土の特色を、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結びつきの視点から大観させる。	・世界と比べた日本の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択し、その情報から日本の地域的特色について読み取ったり、図表にまとめたりすることができる。 ・世界と比べた日本の地域的特色について、世界的視野や日本全体の視野からみた「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」を理解し、その知識を身につけている。	・世界と比べた日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」の観点をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・世界的視野からみた日本の地域的特色や、日本全体の視野からみたおおまかな国内の地域差に関心を持ち、それらを意欲的に追究し、とらえようとする。
日本の諸地域	40	○日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつきのいずれかの視点に注目して地域的特色をとらえさせる。	・日本の諸地域の地域的特色に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりすることができる。 ・日本の諸地域について、七つの視点に注目した考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。	・日本の諸地域の地域的特色を、七つの視点に注目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。	・日本の諸地域の地域的特色に対する関心を持ち、それを意欲的に追究し、とらえようとする。

地域の在り方	4	○諸地域に暮らす人々の生活のようすを的確に把握できる地理的事象を取りあげ、さまざまな国または地域の地域的特色をとらえる適切なテーマを設けて追究させ、地理的認識を深めさせるとともに、さまざまな国または地域の調査を行うさいの視点や方法を身につけさせる。	・調査対象の国や地域の調査と地域的特色に関する資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 ・調査対象の国や地域の調査について、地域的特色にとともに、世界の国や地域の調査を行うさいの視点や方法を理解し、その知識を身につけている。	・調査対象の国や地域の地域的特色をとらえる適切なテーマを設定して、世界の地域の調査を行うさいの視点や方法をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・調査対象の国や地域の調査とその地域的特色に関心をもち、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。
--------	---	---	--	---	---

教科 社会(歴史的分野) 学年 第1～3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歴史学習の初めに	1	○歴史的分野の学習を始めるに当たって、歴史を学習する意義について考える。 ○地理的分野や公民的分野との関係について理解し、教科書の目次などを基に、これから学習する歴史的分野の学習の概要を把握する。	○歴史的分野の学習内容のあらましと学習のねらい、地理的分野や公民的分野との関係について理解している。	○歴史を学習する意義について考え、自分の意見を適切に表現している。	○歴史を学習する意味について考え、歴史学習を通して過去から受け継がれた経験などを学ぶだけでなく、これからの社会に生かそうとしている。
歴史の流れのとらえ方・調べ方	6	○歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりする活動を通して、時代区分や時代の移り変わりに気付かせる。 ○小学校の学習との関連を図りながら、中学校の歴史学習の導入として、歴史に対する興味、関心、意欲を高めさせる。 ○時代や年代の読み取り方を理解させ、歴史を学習する際の基礎を身につけさせる。	○時代の大きな移り変わりに気付くとともに、年代の表し方や時代区分について理解している。 ○日本の歴史の大きな流れや各時代の特色に関するさまざまな資料を収集し、適切に選択してその過程や結果をまとめている。	○歴史上の人物、出来事などについて考える活動を通して、日本の歴史の大きな流れや時代の特色を考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○身近な歴史や歴史上の人物、出来事などについて調べたり考えたりする活動を通して、日本の歴史の大きな流れや時代の特色に対する関心を高め、意欲的に学習している。
原始・古代の日本と世界	22	○日本列島において人々の生活が始まり、やがて国家が形成されていった過程のあらましを、東アジアの動きと関連付けて理解させる。 ○大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治を展開した古代までの日本の流れを大きく捉えさせる。 ○古代の日本において、国際的な要素を持った文化からやがて文化の国風化が進んでいくことを、代表的な事例を取り上げて理解させるとともに、日本の文化財に関心を持たせる。	○日本列島における人々の生活の変化、古代国家の形成のあらましについて、東アジアを中心とした世界の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。 ○古代における文化の特色を、東アジアと関わらせて理解し、その知識を身につけている。 ○古代における国家の形成、天皇・貴族の政治の展開のあらましや文化などについてさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。	○古代文明の特色や宗教のおこり、日本列島における人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ○古代までの日本の大きな流れについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○世界の古代文明や宗教のおこりへの関心を高め、古代までの日本の大きな流れについて意欲的に追究している。 ○現代に残る古代の文化遺産に関心を高め、それらを尊重しようとしている。
中世の日本と世界	16	○武家政権が誕生して、武士の支配が次第に全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを理解させる。 ○モンゴルの襲来、日明貿易、琉球の国際的役割など、この時代に東アジア世界と密接な関わりが見られたことや、それが国内の政治に影響をおよぼしたことを理解させる。 ○畿内を中心とした都市や農村に自治的な仕組みが生まれたというこの時代の大きな変化の原因を、農業をはじめとする諸産業の発達などの視点から考えさせる。 ○武士や民衆の活力を背景にして生み出された新しい文化の特色を、代表的な事例を取り上げて捉えさせ、その中で現在に結びつくものに関心を持たせる。	○武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長を、東アジア世界との関わりを背景に理解し、その知識を身につけている。 ○中世の文化の特色と、その中に現在に結びつくものが見られることに気付く、その知識を身につけている。 ○中世の政治の展開、経済の発達と社会の変化、文化の広がりに関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	○武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界との関わり、文化の特色などについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界との関わりに対する関心を高め、意欲的に学習している。 ○日本の伝統文化に対する関心を高め、今日に残る中世の文化や文化財を尊重しようとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二中学校

近世の日本と世界	22	○織田・豊臣および江戸幕府の諸政策を通して新しい安定した社会が生まれ、その社会が長く続いたことを理解させる。 ○ヨーロッパ文化の伝来や東南アジア各地への日本人の渡航などの対外関係が活発な時期から、外国との交渉が限定された時期へと移っていったことを理解させる。 ○安定した社会が次第に変化し、行き詰まっていく原因について、社会の仕組みや経済の変化などから考えさせる。 ○産業や交通が著しく発達し、町人文化や各地方の生活文化が形成されていった様子を、今日に残る文化財や史料などから把握させ、文化的遺産を尊重する態度を育てる。	○近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開を、日本の歴史と関わる世界の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。 ○産業・交通が著しく発達し、町人文化や各地方の生活文化が形成されていった様子を、身近な地域の歴史的事象との関連で理解し、その知識を身につけている。 ○近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に関する図版、史料、年表、歴史地図などのさまざまな資料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。 ○近世の日本の動きを政治・経済・外交・文化などの項目に分けて、情報を適切に選択して年表などにまとめている。	○近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開から課題を見いだし、世界の動きと時代の特色とを関連させて多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 ○産業・交通の著しい発達と政治や文化の動きとの関連を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に対する関心を高め、意欲的に追究している。 ○武将や豪商の文化、町人文化や各地方の生活文化に対する関心を高め、今日に残る文化的遺産を尊重している。 ○政治・経済・外交・文化などの面で活躍した近世の人物に対する関心を高め、その生涯や業績を調べている。
日本の近代化と国際社会	27	○欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。 ○明治新政府による改革の特色を考えさせ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことを理解させる。 ○立憲制国家が成立して議会政治が始まり、日本の国際的地位が向上したことを理解させる。 ○日本で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解させる。	○開国から明治維新を経て近代国家が形成していく過程を、欧米諸国の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。 ○日本の国際的地位が向上したことや近代産業が発展したこと、近代文化が形成されたことを理解し、その知識を身につけている。 ○近代日本が成立していく過程を、図版、史料、年表、歴史地図などの近代に関するさまざまな資料を活用し、追究した結果を読み取ったりまとめたりしている。	○近代日本が形成されていく過程を、国際情勢や国内の動きから多面的・多角的に考察し、公正に判断して適切に表現している。	○近代日本が形成されていく過程に関心を高め、欧米諸国との関わりに留意しながら、意欲的に追究している。
二度の世界大戦と日本	20	○第一次世界大戦前後の国際情勢を背景に、日本の国際的地位の変化や大正時代の政党政治の発達、民主主義思想の普及、社会運動の動きを通して日本国民の政治的自覚が高まったことを理解させる。 ○昭和初期から第二次世界大戦終結までの日本の政治・経済・外交の動きなどを、東アジア諸国との関係や欧米諸国の動きに着目させながら、経済の混乱、軍部の台頭、戦争の経緯と大戦の惨禍を理解させる。 ○戦時下の国民生活をなるべく身近に感じさせるとともに、戦争の惨禍にも目を向けさせ、関心や態度を養う。	○二度の世界大戦とその間の出来事について、世界の動きと関連させながら、概要を理解している。 ○二度の世界大戦のころの日本の政治・経済・社会・文化の動きについて理解し、知識を身につけている。 ○表やグラフなどを用いて、客観的な統計から、当時の情勢を読み取っている。 ○写真や日記、記録などの資料を活用し、当時の国民の生活の様子を読み取っている。	○各国の動きについて、公正に判断し、自分の意見を述べている。 ○日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し、自分の意見を述べている。	○二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身につけている。 ○戦争体験者など、当時を知っている方々に話を聞く機会を、意欲的に利用しようとしている。
現代の日本と世界	16	○第二次世界大戦後の、日本の民主化と再建、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら理解させる。 ○高度経済成長以降から現在までの日本と世界の動きの概要を、国民の生活と関連させて理解させる。 ○国際社会における日本の役割や、地域社会における個人の取り組みなどに関心を持たせるとともに、将来の社会に期待をいだかせ、社会の一員としての自覚を深めさせる。	○終戦から現在に至るまでの出来事の概要について、世界の動きと関連させて理解し、その知識を身につけている。 ○終戦から現代に至るまでの問題や、日本や世界の抱える将来の課題を理解している。 ○表やグラフなど数量的資料を積極的に活用している。 ○多くの写真や実物資料を用いて、当時の生活を実感している。	○戦後の日本の歩みについて考え、時代が大きく変わる時期を捉え、自分の意見を述べようとしている。	○祖父母、親の体験などを積極的に聞き、個人の歴史と日本全体の歴史とを関連付けている。 ○地球市民として、世界的な視野を持つ公正な歴史観を持つようとしている。

教科

社会(公民的分野)

学年

第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
公民学習の初めに	2	○公民的分野の学習を始めるにあたって、「公民」の意味について考える。 ○地理的分野や歴史的分野の学習内容を振り返るとともに、教科書の目次などを基に、これから学習する公民的分野の学習の概要を把握する。	○公民的分野の学習内容のあらましと学習のねらい、地理的分野や歴史的分野との関係について理解している。	○公民を学習する意義について考え、これまで学習した内容を踏まえた意見を表現している。	○「公民」の意味について、公と私の意味の比較を通して考え、これからの公民学習を通して意欲的に追究しようとしている。
現代社会と私たち	16	○自分たちが生きる現代社会を概観させることで、公民的分野への関心を高めさせ、これ以降の公民学習につなげる。 ○地理的分野、歴史的分野との関連を図るとともに、現代社会の特色をさまざまな条件や要因から捉えさせるなど、多面的・多角的に考えさせる。 ○さまざまな資料から、現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について読み取らせ、適切に表現させる。 ○現代社会の特色としてグローバル化、情報化、少子高齢化が見られ、それらが政治、経済、国際関係に影響を与えていること、また、現代社会における文化の意義や影響について理解させる。 ○現代社会を捉える見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方があることを、具体的な社会生活と関連づけて理解させる。	○現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について理解し、その知識を身につけている。 ○現代社会を捉える見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方があることに気づき、それらを理解している。 ○さまざまな写真や統計資料などから、現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について読み取り、図表や短文などに適切にまとめている。	○現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について、地理的分野や歴史的分野の学習内容や、それぞれの事象の相互の関連などに着目して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ○社会生活における物事の決定の仕方や決まりの意義について、身近な生活と関連づけて捉えたり、対立と合意、効率と公正の見方や考え方に基づいてまとめたり、発表したりしている。	○現代社会の特色や日本の伝統や文化に対する興味・関心を高め、それらが社会生活にどのような影響を与えているか、また、自分たちはその中でどのように生きていくべきかなどについて、意欲的に考えている。 ○現代社会を捉える見方や考え方について、具体的な事例を基にした活動に意欲的に取り組み、これ以降の公民的分野の学習に対する関心を深めている。
個人の尊重と日本国憲法	14	○個人の尊重の考え方や法の意義について、基本的人権や日本国憲法の役割を中心に、具体的な活動を通して意欲的に追究させる。 ○現代社会のさまざまな人権上の課題の解決や、共生社会を実現するための取り組みに、社会の形成者として積極的に関わろうとする態度を育てる。 ○立憲主義の意義や公共の福祉による人権の制限などについて、具体的な事例を通して多面的・多角的に考察させ、その過程や結果を適切に表現させる。 ○日本国憲法の条文をはじめとするさまざまな資料に親しめるとともに、個人の尊重に関する資料を適切に収集・選択させ、的確に読み取らせる。 ○日本国憲法の基本原理(国民主権、平和主義、基本的人権の尊重)について、具体的な生活との関わりを通して理解させるとともに、自由・権利と責任・義務の関係が社会生活の基本となっていることに気づかせる。	○個人の尊重の考え方や、社会生活における法の意義と憲法に基づく政治の重要性、日本国憲法の基本原理(国民主権、平和主義、基本的人権の尊重)、天皇の地位と国事行為について理解し、その知識を身につけている。 ○個人の尊重の考え方や法の意義に関するさまざまな資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	○日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、具体的な事例を通して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ○人権思想の展開と日本国憲法の成立について、歴史的分野の学習内容を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○個人の尊重の考え方や法の意義に対する関心を高め、民主的な社会の在り方について、社会の形成者としての立場から考えている。 ○現代社会における人権に関する課題について関心を持ち、その解決について意欲的に追究している。

現代の民主政治と社会	24	○身近で具体的な事例を通して政治に関心を持たせ、主権者として政治に積極的に関わろうとする意欲と態度を育てる。 ○選挙をはじめとする国民の政治参加によって、より良い民主政治が運営されることに気づかせ、良識ある主権者としての政治参加の在り方について考えさせる。 ○新聞記事や統計資料など、日本の政治に関する資料を適切に収集・選択させ、現実の政治の動きを多面的・多角的に捉えさせる。 ○議会制民主主義の意義や、国会を中心とする国政のあらまし、地方自治の考え方について理解させる。	○国や地方公共団体の政治の仕組みについて、主権者の立場から理解し、その知識を身につけている。 ○多数決の原理や政党の役割、公正な裁判の保障などについて理解するとともに、国民の政治参加の重要性を理解している。 ○国や地方公共団体の政治に関する新聞記事や法令、判例などの資料をさまざまな方法で収集・選択し、政治や社会の現状や課題についての確に読み取ったり、文章や図表などにまとめたりにしている。	○政治に関するさまざまな事象や課題について、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察するとともに、主権者としての政治参加の在り方について考えている。 ○選挙や裁判、地方自治などに関する多様な活動を通して、自分の意見を根拠を挙げながら分かりやすく説明するとともに、多様な価値観を尊重しながら話し合いを行い、その過程や結果を適切に表現している。	○国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。 ○民主政治をより良く運営していくためにはどのような仕組みが必要か、また自分は政治にどのように関わっていけばよいか、意欲的に考えている。
私たちの暮らしと経済	24	○調査や討論、シミュレーションなどの多様な活動を通して、経済に対して関心を持たせるとともに、経済に関する諸課題について、自ら考えようとする態度を育てる。 ○統計資料や模式図、新聞記事などのさまざまな資料を収集・選択させたり、読み取らせたり、その結果を分かりやすくまとめて表現させたりすることを通して、経済的事象を捉える見方や考え方の基礎を養う。 ○経済活動が、人間生活の維持・向上のために欠かすことのできないものであることを、身近な消費生活を通して理解させる。 ○無限で多様な人々の欲求に対して、社会の資源は有限であり、その資源からどの財やサービスを生産するか価格を考慮して選択するという、市場経済の基本的な考え方を理解させ、現代の生産や金融などの仕組みや働き、企業の役割と責任について考えさせる。 ○国民の生活と福祉の向上を図るために、市場の動きに委ねることが難しい諸課題の解決において、政府が果たしている経済的な役割に気づかせるとともに、財源の確保と配分という観点から財政の在り方について考えさせる。	○身近な事例を基に、消費や労働、生産と金融の仕組みや働きについて理解するとともに、市場経済の基本的な考え方を身につけ、その考え方を活用して経済的事象を捉えている。 ○社会資本の整備や社会保障の充実など、国民の生活と福祉の向上のために国や地方公共団体が果たしている役割を理解し、その知識を身につけている。 ○経済活動に伴う環境汚染や自然破壊の問題について理解するとともに、それに対して政府、企業、家計のそれぞれが取り組むことの重要性を理解している。 ○経済に関する統計資料や新聞記事などをさまざまな方法で収集し、家計、企業、政府の経済活動や、日本経済の諸課題について読み取ったり、その結果を文章や図表などに適切にまとめたりにしている。	○企業の社会的責任や日本の財政の課題などについて、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察し、考えたことを分かりやすく表現している。 ○さまざまな経済的事象や日本経済の諸課題について、消費者や生産者、労働者、政府、納税者などの立場から多面的・多角的に考察し、考えたことを分かりやすく表現している。	○身近な経済的事象から、企業の生産活動、金融の働き、政府の経済的な役割などについて関心を持ち、経済に関する諸課題について意欲的に追究している。 ○消費者問題や労働、金融、財政などと、自分の現在および将来の生活が密接に関わっていることに関心を持ち、調査や討論などに積極的に取り組んでいる。
地球社会と私たち	20	○国際社会の現状や諸課題について関心を持たせ、日本の果たすべき役割について考えさせるとともに、世界平和の実現と人類の福祉の増大に向けての熱意と協力しようとする態度を育てる。 ○国際社会の現状や諸課題について、さまざまな資料を基に分析させ、公正に判断させ、適切に表現させる。 ○国際社会の現状や諸課題、国際機関の活動に関するさまざまな資料を収集・選択させ、的確に読み取らせる。 ○国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることに気づかせる。 ○国際社会における国家や国際機構、NGOの役割や、それらが国際社会の諸課題を解決するために行っている取り組みについて理解させる。	○世界平和の実現と人類の福祉の増大の観点から、国家相互の主権の尊重、各国民の相互理解と協力の重要性について理解している。 ○地球環境問題や貧困問題などの国際社会の諸課題や、その解決のためのさまざまな取り組み、日本の国際貢献について理解し、その知識を身につけている。 ○国際社会の現状や諸課題に関するさまざまな資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択し、的確に読み取ったり、図表などにまとめたりにしている。	○さまざまな統計資料や写真、新聞記事などの読み取りを通して国際社会が抱える諸課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの観点を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、それらを解決する方法について、持続可能な社会の観点からの的確に表現している。 ○国際社会の諸課題やその解決への取り組みについて考察し、過程や結果を適切に表現したり、発表や討論などを通して考えを深めたりしている。	○国際社会の抱える諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、より良い地球社会を築くための解決策について考え続けようとする態度が見られる。